



（アドバイザー派遣申請の背景）

地域の資源を活かした観光振興に向けて

上市町は今年度を観光元年とし、身近であるがゆえに気付かなかった地域資源を発掘したり、おもてなしの心を育むなど、これまでにプラスした取組を進めている。

そのような活動の中で気付いたのは、私たちはこんなにも豊かな自然資源を持っているということである。これを活かすためには、現在認定申請を進めている「森林セラピー基地」やグリーンツーリズムなどを有機的につなげていくことが必要であり、エコツーリズムがそれらをつなぐ役割を果たしてくれると考えた。

このようなことから、ぜひアドバイザーを派遣いただき、エコツーリズムの推進にあたっての組織づくりや役割分担等について支援をいただきたいと思います。

| エコツーリズムに取り組む目的 | |
|--|---|
| 従来の観光から脱して、新しい地域の魅力づくりを行うため | ○ |
| 「自然とのふれあい」を志向する旅行者のニーズに対応するため | |
| 地域の活性化に貢献するため | ○ |
| 地域資源の保全に対して「来訪者」の意識を高めるため | |
| 地域資源の保全に対して「地元住民」の意識を高めるため | |
| 地域の将来にわたって「自然環境や文化の保全」が特に重要な点だと考えているため | ○ |
| 現在悪化しつつある地域の自然環境や文化の保全に役立てるため | |
| (その他) | |

| エコツーリズムの対象となる自然観光資源 | |
|--|---|
| 動植物 | ○ |
| 動植物の生息地・生育地 | ○ |
| 地形・地質 | |
| 自然環境と密接な関連を有する風俗習慣、その他の伝統的な生活文化に係る観光資源 | ○ |
| これから地域資源の洗い出しをするため、地域資源の把握ができていない | |
| (主な自然観光資源) | |

| 現在取り組んでいる・取り組もうとしているエコツアーの種類 | 取組中 | 検討中 |
|----------------------------------|-----|-----|
| 原生的な自然におけるエコツアー | | ○ |
| 自然の営みにふれる観察会への参加 | | ○ |
| 農林業などの体験を通じて自然への理解を深める活動 | ○ | |
| 自然や文化に関する解説を受けながら地域を巡る活動 | ○ | |
| 地域の生活や文化を体験する活動 | ○ | |
| 環境保全のための貢献活動 | | ○ |
| 自然の中でゆったりとした時を過ごしながら自然の恵みを体感する活動 | | ○ |
| (現在取り組んでいること) | | |
| (取組を検討していること) | | |

アドバイザー派遣の概要

●日時

平成 24 年 3 月 14 日（水）～15 日（木）

●場所

富山県中新川郡上市町

[視察箇所]

- ① 大岩地区（既存観光地であり、トレッキングルート〈森林セラピーロードとして認定予定）も有する）
- ② 白萩南部地区（エコツーリズムのフィールドとしての活用を検討）

※①、②はトレッキングルートで結ばれています

●エコツーリズム推進アドバイザー

山田 桂一郎 氏

●参加者

[アドバイス時] 8 名

観光協会、観光ワーキンググループリーダー（3 名）、商工会事務局長
上市町産業課長、産業課職員 2 名（観光協会担当者）

[研修会時] 80 名

観光協会会員、観光ボランティアガイド、行政職員ほか

●視察およびアドバイスのスケジュール・方法

(1 日目)

町内の観光の現状など地域課題及びエコツーリズム推進にあたっての地域内の自然観光資源について、担当より説明を行う。

(2 日目)

・現地視察

現地視察を踏まえ、フィールド環境の整備や組織づくり等についてのアドバイスをいただく。

・研修会

山田氏より、エコツーリズム、観光の現状及び観光を活用した地域振興のあり方についての講演をいただく。《演題「選ばれ続ける地域とは」》

(アドバイザー派遣を実施して参考になったこと、感想)

アドバイザー派遣の効果

●参加者や関係者に与えた効果

「観光振興」と言うと、宿泊やお土産に関わる一部の人の話だと考えている人が多く、何故観光を進める必要があるのかという点で、なかなか理解が得られていなかったが、今回の研修会を通して、観光、エコツーリズムの目的が地域の活性化にあること、地域に暮らす人々が誇りを持って紹介できてこそ、初めてその場所に観光としての魅力が生まれるということを理解していただけたと思う。



●今後の期待される効果

1年間のワーキンググループ活動などの取組と今回のアドバイスを通して感じたことは、ただ観光振興と言ったところで、そこに明確なテーマやコンセプトがなく、観光地名を連呼するようなありきたりなPRを繰り返しても、観光客は言うに及ばず、地域に暮らす人達でさえ動かすことはできないということです。

エコツーリズムは単なる観光振興ではなく、そこに地域振興、環境保全といった要素が加わっており、この点を地域の方々にきちんと理解していただくことを第一に取り組むことで、失われつつある地域への誇りや熱意を喚起し、雇用創出さらに定住促進へと結びついていくことを期待しています。

具体的な取組としては、町内の自治会や学校などでもエコツーリズムに対する理解を深めていただくための説明会などを開催し、啓発を行うとともに、観光振興のワーキンググループに限らず、地域の若者も含め、様々な年代の方が意見交換をできる「場」を作っていきたいと考えています。

(アドバイザー派遣を実施して参考になったこと、感想)

アドバイザー派遣を実施して（地域からの声）

●参考となった事項

- ・ 初動においての意識啓発の重要性
- ・ 地域振興を伴わない観光振興は意味が無いということ
- ・ テーマ、コンセプトの共通理解が必要であるということ

●その他感想

- ・ 当町では、エコツーリズムの具体的な取組は未だ行っていません。平成 24 年度からようやく準備を進めていこうとしています。今回のアドバイザー事業を実施したうえでの感想として、まずはテーマ、コンセプトを決めて、それを基に啓発を行い、取組の全体構想（新たな雇用創造までの過程を明確にした）を形成し、取り組んでいくことで、方向性だけでなく出来上がる商品のイメージにも統一性が得られるものと感じました。大好きな場所を大好きな子供たちに誇りをもって残せるように取り組んでいきたいです。

(エコツーリズム推進アドバイザーから地域へのアドバイス)

山田アドバイザーからの地域へのアドバイス

観光資源としては、自然環境から伝統、風習、生活文化まで地域性や個性が豊かな素材は多いのですが、どれも商品化されておらず素材のまま終わっています。まだまだ手付かずのものが多く、今後のエコツアー等の商品化の中で磨き上げれば十分に市場で認知される可能性は高いと思います。剣岳やアニメ映画にだけ頼るのではなく、これらも活用しながら進めれば上市町オリジナルのエコツーリズム推進が出来るのではないのでしょうか。その為にも、まずは関係者だけでなく住民が地域に対してもっと誇りと自信を持ってもらいたいと思います。